桃咲く里

佐久市立平根小学校
学校だより１２月号
令和７年１２月１９日
文責：教頭　酒井　直治

なかよし旬間

１２月１日（月）から１２日（金）までをなかよし旬間と位置づけ、仲良くすることの良さを感じたり、人権感覚を高めたりできるよう、数々の取り組みが行われました。

その１つとして、２年生が配達員となって、校内にいくつか設置してある仲良し郵便ポストに投函されたはがきを各クラスに届けてくれました。全校のために朝休みの時間に回収と配達をしてくれましたので、学年を越えて心温まるメッセージのやりとりができました。

また、代表委員会の呼びかけにより、赤い羽根共同募金活動が行われました。ご協力いただきましてありがとうございました。そして、１２日（金）には６年生が中心となって児童会主催の「スマイル祭り」が実施されました。楽しく工夫された７つのアトラクションがあり、高学年児童は交代しながら低学年児童が楽しめるよう運営に努めてくれました。アトラクションを終え、折り紙で作られた景品をもらった低学年児童が嬉しそうにしていたのが印象的でした。校舎に笑顔があふれ、冬の寒さの中に心温まる雰囲気が感じられる一時となりました。

地域の方に学ぶ

１５日（月）には、５年生が区長会の皆様、公民館関係者の皆様、コミュニティースクールの皆様からしめ縄作りを教えていただきました。自分たちで育てた稲の藁を使って手ほどきを受けながら編んでいきました。最初は慣れない手つきで苦労していましたが、編んでいくうちにコツをつかみ、オリジナルしめ縄を完成させることができました。

また、１０日（水）、１７日（水）と２日間にわたり、３年生から６年生まで書き初めの指導をしていただきました。今回、初めて書き初めに挑戦する３年生は「つよい心」という題字を、どんなことを意識すればきれいに書けるか加藤先生から教えていただきました。名前も大きく間を空けて書き、字が弱々しくならないようにとお話がありました。どの学年でも加藤先生がお手本の字を書かれた際には、真剣に書く様子を見る子や、あまりの上手さに驚きの声をあげる子もいました。毛筆ならではの楽しさを感じながら新年のスタートがきれるといいですね。

ご指導いただきました講師の皆様に感謝申し上げます。

３６年前の平根が

臼田にお住まいでカフェを営んでいらっしゃる井出　宏様から平根小学校に絵を寄贈していただきました。ご趣味で何年も絵を描き続けてこられたということで、３６年前に桃の花が咲き広がる平尾山から見た情景に魅力を感じて描かれたとのことでした。井出様は「平尾の桃の花が素晴らしく感じ、３６年前に描きました。平根小学校の学童たちにいつまでも自分のふるさとの情景を忘れないでほしいという想いから学校に寄贈したい」とお話してくださいました。南パラダ下辺りから蓼科山方面を眺めて描かれたそうです。「花摘み」という題名で、桃の花や情景、人の表情が油絵の具で色鮮やかに描かれています。多くの方に見ていただきたいと願い、児童玄関を入って左側の壁面に掲額してあります。ご来校の際には是非ご覧いただけき、当時を懐かしみながら会話に一花咲かせていただけたらと思います。